

Taxshe

 インド (南アジア)

女性と子供のための、女性による「安全」なタクシーサービスの提供



創業者が新聞を読んでいたとき、乗車したタクシーで暴行被害に遭った女性の記事が目飛び込んできた。「もし運転手が女性だったら、私はこんな目には遭わなかっただろう」その言葉に突き動かされ、女性ドライバーによる、女性と子供のためのタクシー会社が創業された。



背景にある社会課題

- インドでは女性と子供に対する暴力が大きな問題となっており、安全に働いたり、外出したりする障害となっている。
- インド女性の労働参加率は主要国で最も低い。

ビジネスモデルと製品の特徴

- タクシーのドライバーを全て女性にすることで、女性と子供が安心して利用できるタクシーサービスを提供している。
- 利用客を女性と子供に限定することで、女性ドライバーが安心して働くことができるようになり、雇用創出を実現している。

SDGビジネスへのアプローチ

- 女性と子供という、都市部のコミュニティに十分に包摂されていなかった層に「安心して移動できる手段」を提供している。
- 利用客が限定されていることから、働く側にも女性が入れるようになり、離村などで雇用機会のなかった女性が運転技術の訓練を受け、ドライバーとして働けるようになっている。
- 運転技術に加え、護身術の訓練、GPS追跡やペッパースプレーの装備など、働き手としての女性を守る環境を整えている。
- 培った運転技術の訓練カリキュラムを活用し、一般女性向けのドライビングスクールを開校して運転技術向上に貢献している。

SDGsへのインパクト

- デリーとバンガロールで、これまでに200万回以上の「女性と子供だけの乗車」を提供している。
- 毎日500人以上の子供が学校に送り届けられている。
- これまでに432人の女性が離村から採用され、うち90人が運転免許を持つドライバーとなった。

成功のポイント

- ① 取り残されていた女性と子供に特化することにより独自のサービスを提供している
- ② 利用者側を限定することで働き手として、女性が安心して働ける環境を作り出している
- ③ 培ったトレーニングカリキュラムを一般女性向けに提供し、インパクトを拡大している

